

虚無僧 vs シンブリアンシヤーク

●はじめに

このテキストは、2018年4月27～29日に早稲田大学学生会館で上演された演劇公演「虚無僧 vs シンブリアンシヤーク」で用いられた脚本です。

●演劇をしている方・しようとしている方へ

いないとは思いますが、もしこの脚本を上演したいという方や団体がいらっしゃいましたら、作者である藤沢千代まで「連絡ください」。

使用料などは不要です。また、改変なども自由にしていただいて構いません。

その際は、団体名・代表者名・上演日時・会場・連絡先を明記してくださいと助かります。(見に行けるなら見に行きたいので)

●作者連絡先

mail:tagame_me_me@gmail.com

twitter:@pbare_0631

●登場人物

毒島真鴨

善光寺レイラ

野中謙太郎

川崎蓮

高山結月

石瀬千尋

和田エルズベリー

トプレスハット卿

ロータス

ノートン

鮫

虚無僧

生徒

海女

ナレーション

力士

男

モブ

○

夜の砂浜。波の音がする。

野中謙太郎と高山結月、下前から歩いて入ってくる。結月、突如野中に肩パンし走り出す。しばしイチャイチャ走り回ったのち、結月、突如海に入る。

野中 危ないよ。

結月 ねえ。

野中 危ないって。

結月 ねえ、ケンちゃん。

野中 てか寒いよ。

結月 ケンちゃんはずー、私と海とどっちが好き？

野中 風邪引らて。

結月 ねえ聞いてる？

野中 今何月だと思ってるの。

結月 もいいよ、ケンちゃんが来るまで私泳いでるからね。二、三マイルは行っちゃうからね！

結月、泳ぎ去る。

野中 もっ……。

少して、結月の悲鳴。

野中 結月？

一本の腕が上はけから飛んでくる。血痕と歯形付き。

野中 え……？(腕に気付くえ、あ、うっわあああああ……！)

暗転。

一

「きかんしゃトーマスのあれのような音楽

ナレーション 虚無僧vsシベリアンシャーク、というお話。

ロータスとノートン、それぞれ下前と上前から出てくる。同時に波パネルも出てくる。

ナレ 漁船のロータスは、頑張り屋。今日もいそいそと働いている。

ロータス ちよとノートン。何やってるのさお仕事は？ ハット卿に言われたらろ？

ノートン いいじゃないか、ちよととろい。一日中働いてて、日本人の悪いとろだ。

ロー人じゃないからいいんだよ。

ナレ 比べてノートンは、少したけ怠け者のよつだ。

トップレスハット卿、下奥から歩いてくる。上裸で、右腕で両乳首を隠している状態。

ハット卿 やあ、やあ、二人とも。

ロータスノートン ハット卿！

ナレ 二隻の船の持ち主、トップレスハット卿だ。

ハッ どうだね、調子は。

ロー ばっちりです！

ハッ (聞かずに) うん、うん。良きうだね。いいことだ。

ハット卿、二隻を触って様子を確かめる。この際、けして乳首が見えてはいけない。隠す腕は変えてもよい。

ハッ じゃあ、私は葬儀があるから。今日もよろしく頼むよ。

ロー はい！

ロー はい。

ハッ (去り際、真剣に) くれぐれも、サメには気を付けて。

ロー サメ？

ハット卿、答えずに下奥へはける。

ロー ……。

ロー まあいいや、よし、お仕事するぞー！

ロー ……やる気があるのはいいけどさあ。

ロー (何かの作業をしながら) 何、ノートン。

ロー 結局、僕はただの漁船なわけで。人が乗ってないときに頑張ったって意味ないよ、そんなの……。

ロー わあっ！

ロー ロータス？

ロー タス、倒れこむ。緑色の物体が体に絡まる。

ナレ おやおや、どうやらカメラがロータスに絡まってしまったみたいだ。

ロー 何やってるんだ、君は……。

ロー た、助けて、ノートン。

ロー 自業自得だろう？ 誰か漁師が来たら助けてもらえばいいよ。

ノートン、上前へはけていく。

ロー ちよ、ちよひつ。

ロー 僕にもやるべきがないわけじゃないんだ。それじゃ。

真鴨と石瀬とレイラ、上奥からノートンとすれ違いうちに入ってくる。

レイラは魚の図鑑を小脇に抱えている。真鴨は釣り竿を担いでいる。

ロー ちよひつ……。

石瀬 (食い気味に) ちよひつと聞いているの？

真鴨 分かっていますよ。

石瀬 分かっているわ。真鴨くん、あなた結月ちゃんより魚が大事だって言うの？

真鴨 そんなこと無いんですけど。

石瀬 じゃあどうして。

真鴨 結月のことでは、その、悲しいです。でも葬式に出る必要がありませんか？ 二つでも悼むことではできる。釣りをしながらでも。

石瀬 でもあなたのそれはどう見たって……

真鴨、ロータスのワカメを剥ぎ取って石瀬に投げつける。

ローあつ。

真鴨 別にサボりでもないですけど、先生、そろそろ始まる時間なんじゃないですか？

石瀬 …… 明日の朝、職員室に来るよつに。

石瀬、ワカメを剥がして去るうとする。

真鴨 それと……その人、誰ですか？

石瀬、止まる。

真鴨 なんか、いかにも幼馴染みたいな雰囲気について来てましたけど、誰なんですか？
レイラ …… 私は、

石瀬 ああ、いやあ説明してやるよー(ワカメを地面に叩きつける)こちらー！ 善光寺レイラ
さんですー！ 今日からうちに転入してきましたー！ よろしくねー！

レイ あ、はい。

石瀬 ほら挨拶ー(真鴨を叩いて)

真鴨 よ、よろしくお願ひします。

石瀬 (レイラも叩く)ほらー

レイ よろしくお願ひします。

石瀬 はい。ハット卿の姪っ子さんだからあんた、仲良くなきゃいよー！ それじゃー！

石瀬、上奥へ大股ではける。残された真鴨とレイラ、気まずい沈黙。

レイ ……

真鴨 ……えっと善光寺、さん。

レイ レイラでいいよ。名字、長いから。

真鴨 あ、うん。

レイ ……えっと

真鴨 毒島真鴨。真鴨でいいよ。名字、ちよつと言いつづいていから。

レイ うん。

真鴨 俺もさなんて言っか、ハット卿には世話になってるんだよ。

レイ ……

真鴨、この辺でロータスに腰かける。ロータスは両手両膝をついて真顔。

真鴨 レイラは……あー、どこから来たの？

レイ ロシア。ウラジオストフの端っこ。

真鴨 ロシアー？ すごいな、帰国子女だ。

レイ でも生まれは日本だし、ロシア語もそんなに。

真鴨 ふーん。でもすごいよ、俺なんてこの街から出たことないし。

レイ そうなんだ。

真鴨 うん。

真鴨、沈黙と抱いだ釣り竿を持って余し、海に竿を垂らす。

レイ ……真鴨くんは、釣りが好きなの？

真鴨 まあね。飯も食えるし、なんかポーっと考え事とかできるから。

レイ 魚には詳しい？

真鴨 どうだろう。で釣れるやつだったらまあ……。

レイ ……。

真鴨 レイは好きなの？ 魚。そんなん持ってるけど。

レイ ……好きじゃないけど、興味はあるかも。

真鴨 ……。

レイ 真鴨くん。この街に……いや、この海に、サメはいる？

真鴨 ……サメ？

レイ サメ。

ロー サメ！？

ロータスが起き上がり、真鴨、落下。

ロー あっ。

真鴨 いったって……。なんだよ、高波か？ くそっ、このボロ船。

真鴨、ロータスを蹴飛ばす。ロータス、下奥へ慣性ではける。

レイ、その頃にはワカメと凶鑑を武器のように構えて沖から離れている。息が荒い。

真鴨 レイラ？

レイ 真鴨くん離れて！ サメがいるかもしれない。

真鴨 何言ってるんだよ、こは日本だぞ？

レイ でも！

真鴨 それに冬だ。サメがこんな冷たい海までバカンスに来るか？

レイ ……ロシアよりは温かい。

真鴨 ……！

真鴨、少し考えて、レイラに近寄る。

真鴨 落ちて着こうレイラ。(ワカメを奪い海面に投げる)もし本当にサメがいるなら、あのワカメを

食へるはずだ。

ワカメ、しばし水面を漂うことはできないので、照明でこまかしたりしたい)。

真鴨 ……うん、大丈夫。サメはいない。

レイ ……。

真鴨 とりあえず、今日はもう帰ろう。ハット卿のとだよね。

レイ ……うん。

尺八の音が鳴り響く。夕焼けこやけ。レイラ、不思議そうに空を見上げる。

真鴨 まだ。最近さ、夕方に尺八かなんか吹いてるやつがいるんだよ。誰か分かんないけど。

レイ 尺八……？

真鴨 なんて言うか、笛。リコーダーみたいな。

レイ あー、そいつ。

真鴨 リコーダーは分かるの？

レイ うん、今日も音楽の授業で吹いたし。

真鴨 あー、そうか、今日音楽だ。

レイ ……笛、か。

真鴨 え？

レイ インドの蛇使っているでしょ？ あんな感じで「うサメを操れたりとか

真鴨 もついでにサメは…ほら帰るぞー！

真鴨・レイラ、喋りながら下奥へはける。

サメ(のヒレ)が現れ、残されたワカメを食べて、去る。

●二

チャイムの音。

野中と川崎とレイラ、下奥から来て並んでいる。上奥から石瀬。

川崎、だるまの目を眠そうに野中、だるまの目を辛そうにレイラはしきりしててる。

生徒 校長先生ありがとうございました。続きまして、生活指導部の石瀬先生よりお話を。

石瀬 えー、皆さん、おはようございます。座らずに聞いていてください。

川崎、座るついでにキャンセル。

石瀬 まず皆さんに話をなすてはならないのは、高山結月さんのことです。

野中、びびる。

石瀬 本当に悲しい、あつてはならない事故でした。葬儀は昨日行われ、皆さんも参列してくれたと思いますが、今、この場で改めて、彼女に黙祷を捧げたいと思います。……黙祷。

真鴨、下奥から気まずそうに入ってくる。川崎、気づいて真鴨を軽くばく川崎はそんなに黙祷してない。

石瀬 この世界にはたくさんの宗教があります。生と死については色々な考えがあつて、この場にいる皆さんも信仰は様々でしょう。ですが、誰であつても生前の高山さん……結月ちゃんを思い出すことはできます。

川崎 おい、またサボリか？

真鴨 話聞けよ。

川崎 ……。(無言でしばく)

石瀬 皆さんにお願いがあります。結月ちゃんのことを忘れないでください。私たちが覚えている限り、彼女は私たちの中で生き続けるのです。

野中、この辺で泣きます。

石瀬 特に三年生、受験を控えた大変な時期ではありますが、結月ちゃんと一緒に、乗り越えていきましょー！……私からは、以上です。

川崎、目立たない程度に伸び。

石瀬 ああ、それと……3年の毒島真鴨、職員室まで来なさい。以上です。
生徒 石瀬先生、ありがとうございます。本日の朝礼は……(以下、適当に締め挨拶)

石瀬、上奥へはける。生徒たちも逆方向に向かう。真鴨は石瀬側に出ているとする。川崎、なんとなくレイラに近づく。

レイ 真鴨くん。

真鴨 ああレイラ、おはよう。

レイ 今の、職員室って。

真鴨 朝礼の前に行くはずだったんだけど、寝坊したから。それだけだよ。

レイ そう……。えっとその。

真鴨 ……うん、また後で。

真鴨、上奥へはける。レイラも見送ってから下奥へはける。川崎、レイラを少し見詰め、傍らの野中にケツキック。
チャイムの音。放課後に切り替わる。

川崎 ……ったくよお。

野中 ……(まだちゅうと泣いてる)

川崎 おい。おいケン！ いつまで泣いてんだ。

野中 だって。

川崎 だってじゃねえよ！ チツ、あのババア余計な話しやがって。

野中 いい話だったじゃん。

川崎 無駄にな。溺れて事故死って、美談でもなんでもないべ。むしろ俺には夜の海の危険とか

注意しろよ。なあ？

野中 ……川崎は、悲しくもないの？

川崎 そりゃ ……でもよ、世界で一日に何人が死んでると思う？ 毎回泣いてたらキリねーだろ。

野中 ……

川崎 ……すまん、言い過ぎた。

レイラ、キヨロキヨロと上奥から入ってくる。場所のイメージとしては学校近くの公園。二人を見つけて、反射で灯台の陰になんとなく隠れる。

野中 ……あのみ。

川崎 あ？

野中 結月のことなんだけど。……本当は、溺れただけじゃないんだよ。

川崎 何言ってるんだ？

野中 俺、その場において！ 結月が泳いでいって、それで。

川崎 ……それで。

野中 それで、腕だけ戻ってきた。

川崎 は？

野中 歯型がついてたんだ。ハット卿には言うなって言われたんだけど、もしかしたらレイサマー？

レイラ、飛びだす。サメ凶鑑抱え済み。野中ビビる。

川崎 なんだお前……転校生じゃねーか。盗み聞きか？ いい趣味してんな。
レイ ねえ、今の話本当？

川崎 聞けよ！

野中 ううん。

レイ その腕の写真は撮ってたりする？ それか思い出してスケッチとかできる？

野中 や、その、特に……怖くて……。

レイ ……そっ。

真鴨 上奥から入ってくる。

川崎 転校生、てめえいい加減に……

真鴨 ! おい!

真鴨、ダッシュで来て川崎を突き飛ばす。

真鴨 いきなり何やってんだよ、お前……!

レイ ごめん。

真鴨 え?

レイ えっとユツキの、未亡人くん。嫌だったよね、ごめん。

野中 み、未亡人?

レイ ……行こう、真鴨くん。

真鴨 ちよっ、待てよなんでレイが……。

真鴨 レイラ、上奥へはける。

野中 ……レイラちゃん、日本語苦手なのかな。

川崎 知らねーよ、そっ。

野中 サメ、好きなのかな。すごい食いついてたし、サメだけに。

川崎 知らねーっつってんだろ。

野中 真鴨と二緒に住んでたりするのかな。同じ食卓囲んでたりするのかな、お風呂は……

川崎 おいケン! ……そこ座れ。

野中 ううん。

川崎 お前どっした?

野中 何が?

川崎 お前もつ結月忘れてんだろ。転校生のことばっかだろ頭ん中。

野中 そっただけど、川崎だっつてさっき……

川崎 否定しろよ! あーそ、腹立つ。

野中 ……でも本当に仲いいよね、真鴨とレイラちゃん。

川崎 まあな……。

野中 サメ繫がりかなあ、真鴨って釣り好きだし。

川崎 つつてもサメは釣らねえんじやねえの?

野中 ……。

川崎 つか物理的に無理だべ、どっぶつの森じゃねえんだからさ。ハハ……。

野中 ……川崎。

川崎 ……なんだよ。

野中 捕ろっ。

川崎 はっ。

野中 だから！ サメを捕ろうよ、俺たちで。

川崎 …… いや何言ってるんだ、そもそもサメは

野中 いるんだよ、きょう。そいつが結月を食べたんだよ。それで、レイラちゃんはサメが大好きだから、真鴨に頼んで一緒に釣ろうとしてるんだよ。

川崎 飛躍がすぎえぞお前。

野中 それでさ！ 俺たちがサメを捕ったらレイラちゃんは喜ぶじゃん。どころか、町の脅威を消し去ったってことで、俺たちもヒーローじゃん！ 結月の仇を討つことにもなるし！

川崎 バカな映画の見過ぎじゃねえの？

野中 映画… そうだね、ジョーズみたいにガスボンベ食わせて爆発させるのがいいのかも。

川崎 お前話聞いているか？

野中 行こう、川崎。まずは和田さんを呼んで…

川崎 ケン！

野中、止まる。

川崎 バカなとすりや気は紛れるかもしねーけどよ、その、なんだ。

野中 うん。

川崎 …… まあいいや、行こう。

野中川崎、下奥へはける。

真鴨レイラ、入れ替わるように上奥から入ってくる。

レイ …… その、ごめん。ありがとう。

真鴨 別にレイラが謝る必要のないのに、悪いのは川崎なんだから。

レイ 違う私が悪いの。未亡人さんに酷いこと言っただから。

真鴨 …… ケンに、何を？

レイ ユツキさんの腕に菌型がついてたって言うから、すごい問い詰めちゃった。写真はあつた、とが。

真鴨 腕に、菌型…。

レイ そう。ユツキさんは、ただ溺れただけじゃない… 食べられたの。この海で…。

真鴨 …… まさか、サメが食べたって言いたいのか？

レイ …… (頷く)

真鴨 ……

レイ …… 私ね。みぼ… 彼の…

真鴨 ケンね。

レイ ケン。ケンの気持ちも分かるんだ、なんとなく。大事な人が突然いなくなって… 殺されて。その犯人は、まだのんびり泳いでる。人じゃないけど。

真鴨 ……

レイ 真鴨くんは、サメを殺せると思ってる。

真鴨 …… 譲ろう。百歩譲って、本当にこの海にサメがいて、そいつが結月を食べた、とする。

レイ うん。

真鴨 それでそいつを殺せるかって？ そんなの、分かるだろ。人食いサメだぞ？

レイ やってみなきゃ分からない。

真鴨 やる気なのか？

レイ ……

真鴨 無茶だ。無謀だ。そもそもどうしてそこまで執着するんだ、いるかも分からないサメに。

レイ …… 分かるでしょ？ 復讐だよ。

真鴨 復讐？

レイ 旅行してたんだ。私とお父さんとお母さんと妹と。みんなで船に乗って、海がすごく綺麗で、それで……ごめんね、聞きたくないよね、こんな話。

真鴨 いや……

レイ 復讐、無茶だよ。分かってる。

真鴨 レイラ。

レイ さっきは助けてくれてありがとう。

真鴨 レイラ、俺は

レイ 私、一人でなんとかするから。それじゃ……

尺八の音(夕焼けこやけ)。二人、止まる。少しして、虚無僧、上奥から入ってくる。笠を被り、尺八を吹いている。

レイフ、後ずさりして真鴨の方へ戻る。虚無僧、ワンコーラス奏できつてから笠を脱ぐ。ドヤ顔。

真鴨 ……えっと。

虚無僧、逆さにした笠を差し出す。

虚無僧 ん。

レイ ……知り合い？

真鴨 いや……

虚無 ん！

真鴨 あ、何ですかそれ、何を要求されてるんすか俺たち。

虚無 金だろが！！

真鴨 レイラ逃げるぞ！ やばい人だ。

真鴨レイラ、ダッシュで下奥へ逃げはける。

虚無僧、手持ちぶさたに間。

虚無 ……難しいな。

虚無僧、首をひねりつつ歩き去る。

●三

石瀬、勇ましく上奥から歩いてきてホイッスル。ジャージ。片手に藤球(チンロンの球)。同時に生徒も下奥から入ってくる。

石瀬 じゃあ出席取ります。内田さん。

生徒 はい。

石瀬 川崎くん。

沈黙。

石瀬 欠席ね。野中くん。

沈黙。

石瀬 欠席。毒島くん。

沈黙。

石瀬 はい、欠席……ね。善光寺さん。

沈黙。

石瀬 ……はい。内田さん。

生徒 はい。

石瀬 何これ？ あなた何か聞いている？

生徒 あ、真鴨くんは確か親族に不幸がとが……。

石瀬 はいはい、いつものね。

生徒 あと結月ちゃんも確か不幸が……

石瀬 知ってるわ！ やめなさい、そういうデレケートなところで攻めるの。

生徒 はあ。

石瀬 で、皆してサボリ？ なによ学級崩壊？ 崩壊するものなのね、田舎の少人数学級も。

生徒 はあ。

石瀬 でもね内田さん、私の目が黒いうちはこの授業、終わらせませんからね。

石瀬、生徒に籐球をかつこよく投げる。

石瀬 (構えて) 始めましょうセ。パタクロー。

生徒 先生。

石瀬 なに？

生徒 誰もいないので、ストレッチ、組んでもらってもいいですか。

石瀬 ……。

二人、上奥からほける。

入れ替わるようにロータス・ノートンそれぞれ下前と上前から歩いてくる。ノートン、あくび。

ローノートン。

ノー (欠伸しつつ) なんだい？

ロー そいつの、よくないよ。

ノー ふおっこの？

ロー だからそれ！

ノー うるさいな……そんなこと言ったってしょうがないじゃないか、夜勤で寝不足なんだ。

ロー イカ釣りのこと夜勤って言わないでよ……ああほら見られるよ、うちよろしないで。

川崎・野中、何か話し込みながら下奥から入ってくる。漁船二隻はそれぞれほける。

川崎 なあ。

野中 なに？

川崎 授業行こうぜ。

野中 何言ってるのその顔で。

川崎 いやお前が何言ってるんだよ。その、なんつったっけ、

野中 和田さんね。

川崎 和田さん待つのにはケンだけでもよくな？ 俺セ。パタクローしてえんだけど。

野中 ダメだよ！和田さんに僕だけであつてなるとなんかほらねえ？

川崎 知らねえよ！和田さん別にコモンセンスじゃねえぞ。なんだ、どいいう助っ人だ？漁師
か？ハンターか？

野中 やめなよ、デリケートなところ攻めるの。

川崎 なんだよそれ……あつ。

和田、キヨロキヨロしながら上奥から入ってくる。片手にスーツケース。グラサン。川崎たちを見つけてストップ。

野中 あつ。

和田、もつ片手のスマホ(オン自撮り棒)をいじりだす。野中、キヨトリつスマホを手に取る。

野中 (音声入力で)はい、制服の二人組です。

川崎 あれか、和田さん。

和田、頷き、グラサンを外す。自撮り棒を和田が写るように構える。

和田 こんにちは、和田エルズベリーです。とんでもないミステリーが入ってきました。なんとこの日本に、ハリウッド映画のような人食いサメが生息しているのです！早速お話、伺つてみますよ。おはようございます。

川崎・野中 ……(ほどほどに息を合わせて)おはようございます。

和田 お二人は、サメを見たということですが。

野中 はい。

川崎 ……あの、和田さん。

和田 ベリーでいいですよ。

川崎 ちよつと……ちよつと時間をください。

川崎、野中掴んで距離を取る。

川崎 ケン、説明。

野中 ええ、川崎ユーチューブ見ない人？エルズベリーチャンネル見たことないの？

川崎 いや知らねえよ！なんで俺がユーチューバー網羅してると思っただよ。

野中 まあ、和田さんは特に体を張ってるミステリーハンターユーチューバーだからね。

川崎 ミスちなんだよそれは。横文字並べりやいってもんじゃねえぞ。

和田 では早速、現場の海へ案内していただけますか？

川崎 え、あつ、ちよつと……。

三人、上奥へはける。

真鴨レイラ、下奥から入ってくる。真鴨は釣り竿持ち。

レイラ ねえ、学校ごつちだっけ？

真鴨 ……いや、ごつちは海。

レイラ いいの？あの先生にまた怒られるよ。

真鴨 いいよ、どっせ体育セパタクローだし。

レイラ セパ……なに？

真鴨 知らない？セパタクロー。

レイラ うん。

真鴨 へえ、意外。リコーダーは知ってたのに。
レイ そのこと同列なんだ……。

レイ フ、はけようとする真鴨に……

真鴨 行かないの、体育。怒られるよ。

レイ ……私も、釣りの方がしたい。

二人、上奥へはける。

和田 川崎野中と彼らに乗せたノートン、上前から入ってくる。

『いい感じの洋楽

和田 皆さんこんにちは、和田エルズベリーです。私は今海にいます！ 少年たちの助けを得て、

漁船に……乗っています！

川崎 あ、大丈夫なんすかこれ。俺ら許可とが取ってないですけど。

ノー うちのなあ、もう……。

和田 お二人がサメを自撃したのはこの辺りでしょうか？

野中 はい、そうですね。

川崎 待てお前。

野中 この辺をEレがこうブワーって。

和田 (自撮り画面見ながら)なるほど、はい、なるほど。

野中 僕も二十年弱生きてきましたけど、初めて見ましたね、はい。

川崎 すいません、ちょっと。

川崎、野中を少し引き離す。

川崎 お前流れるように嘘つくな。

野中 え？ 未成年だから二十弱で合ってるよ。

川崎 そこやねえ！ 実際はサメ見てないだろ、話盛ると後々やべえぞ。

野中 大丈夫大丈夫、今は和田さんのウケを取ることが大事だから。僕たちだけで武器なんて調

達できるっ。

川崎 それは……。

野中 僕たちは確かにEレでサメを見た。いい？ 見たんだよ。ああいうの。

見ると、背びれのようなものが下手方向の海面から出ている。

川崎 ……わーっしたよ。

和田 あっ、再開していいですか？

野中 はい、大丈夫です。

和田 それでは、そのときのサメについて――

川崎 待て待て待て待て……

野中 もつらいよ、つらいなあ。

川崎 Eレ……Eレ出てる……

野中 え？ あ……うわあああ……？

『ジューズのあれのような雰囲気音楽

和田 なんとEレEレEレ…… 本当にサメがいます！ 私は今、日本海でサメを見えています！

「し、段々近づいてくる。」

野中 ちよつ、え、や、やばいよ死ぬよー!

川崎 お前落ち着け! 和田さん何か武器持ってませんか!

和田 鎖鎌があります!

川崎 なんでそれチョイスした!??

野中 ほんとに!?! やばいってマジで!!

川崎 そうだ網だ! 漁船だから網があるはずだ、それで動きを止める!

野中 なんで先に準備してかないの!?!?

川崎 うるせえな!

和田 来てます、確実に「ちち」近付いてきています! 戦闘は避けられません!

川崎 よしこれだ、やるぞ、俺はやるぞ、俺はできるやればできる俺はできる子川崎蓮……。

和田 目測十メートル、七メートル、五メートル……。カメラ持っててんだぞ!

野中 はい!!--

川崎 うああああああ!!--

「し、海面から上がる。海女さん。」

三人 ……………。

海女 ああやっぱり蓮ちゃん! とうじたのこんなところで、(手にしたナマコを投げる)はいこれ尻山とれたからあげる、勉強頑張ってるね!

クソアマ、潜って下前へ帰る。

川崎 ……………。

和田 ……あの、それは。

川崎 ……ナマコ、ですね。

野中 なんだ、海女さんかあ……。心臓止まるかと思った。

和田 (カメラに戻る)えー、肩すかしを食った形となりましたが、サメに遭遇した際の予行演習にはなつたと思います。そついでにはまだお話できていませんでしたが、今回の依頼は討伐でしようか、捕獲でしようか?!

野中 討伐をお願いします。

川崎 モンハンかよ……。ったくこの船も色々見とかねえとな…………。

川崎がノートンに触ることで瞬間、衝撃音とともに船めっちゃ揺れる。

ノーぐわあああああ!!--

野中 えっ何、今度は何?!

川崎 ……二人、逃げるぞ。

和田 何言ってるんですか、さっきのはサメじゃなぞ。

川崎 今、浸水を確認した。この辺りに障害物はねえ。ただの揺れじゃない、襲われてんだ!

衝撃と揺れ。

川崎 この船はもつと沈む!!--

真鴨レイラ、下奥から入ってくる。

真鴨 いやだからクリケットじゃないんだよ。セパタローはセパタローの良さがあってさ。
レイ ……ねえ、あれ。
真鴨 え？

川崎たち、陸に接岸。ロータスが入ってくる。

ロー おかえり、クルージングの気分はどうだい？

ロー ……。

野中 助かつた……？

川崎 上がるぞ、早くしろ。

真鴨 何やってんだ、こんなところで。

川崎 …… あーっと。

真鴨 それに今授業中だぞ、よりによってセパタローなのに。

レイ どの立場から言ってるの……？

和田、上がってすぐ動画に戻る。

和田 とんでもないことになりました。私たちの乗っていた漁船が……。一歩間違えば、三人ともワ

カメの養分になっていたことでしょう。

レイ ……説明して。色々。

川崎 何かに襲われた。多分サメだ。

野中 川崎！

川崎 隠してもしょうがねえだろ！

野中 ……。

和田 だけど、私たちはこっぴて陸に帰ってきた。そんなに構えなくても大じよ

レイ 見たの？

和田 はい？

レイ そのサメの姿を、あなたたちは見たの？

和田 それは……。

レイ だって安心なんてできない。まだそこにいるかもしれない！

川崎 ……だとしてもそいつは魚で、俺たちは陸にいる。なんでそんなに怯える？

真鴨 待て、船の様子がおかしい。

川崎 あ？

見ると、ノートンが瀕死。

真鴨 ……釣りをしていると、たまに変なのが引っかかるんだ。カニとか、ユミシヤが……。

ロー グッ、ア、ガッ……。

ロー ノートン、ねえノートン？ どうしたんだよ、何か言ってよ！

真鴨 かかった獲物の正体は、釣り上げるまで分からない。

ロー ノート

ロー ああああああああ……！

ノートンの甲板を食い破って、サメが出てくる。

サメ ……。

一同……！

サメ、人間たちを認識してゆっくり陸に上がる。不慣れ感。野中ロータスくんもつ腰抜けてる。

真鴨 嘘だろ……？

野中 あ、あ……。

和田 みんな離れて！

鎖鎌構える和田。一同我に返る。

和田 やああああああつ！

和田斬りかかるも、普通に止められる。サメ、和田を一瞥。

川崎 危ない！

川崎、和田を突き飛ばす。

サメ、川崎になんか一撃。川崎、即死して海に落ちる。

和田 つな……。

真鴨 逃げろ！ みんな死ぬぞ！

野中 ううあああああ……！

一同、ダッシュで下奥から逃げる。

誰もいなくなり、サメ、吠える。暗転。

●四

ハット卿と虚無僧、上奥から入ってくる。笠は被っていない。

虚無 ……それで？

ハッ それだけです。

虚無 大事件じゃないですか、ねえ？ 二人死んでるんだぜ。殺人事件ならそろそろ死刑だ。

ハッ 二人と一隻です。

虚無 どうちでもいいけどさ。俺より先に行くところあるんじゃないの？

ハッ 相手にされませんでした。

虚無 だろさね。

ハッ あなたは、いわゆる何でも屋のようなものと聞きました。金を払えば何でもするぞ。

虚無 盛られてるぞそれ、何でもは無理だ。

ハッ あなたのような無職の浮浪者が日本各地をこのように歩き回り、卑しくも田いこ飯を食くら

れているのは、その稼業のおかげだよ。

虚無 ところで聞いたんだよ！ 悪意に満ち満ちてるじゃねえか。

「」の辺で結月、上奥から入ってくる。頭に輪っか。片腕がない。興味ありげに二人を眺めている。

ハッ では、お受けいただけないと？

虚無 そう言ったらどう？

ハッ もつ一度警察に行きます。そして、あなたを引き渡します。

虚無 なんでもだよ！

ハッ 迷惑行為防止条例違反です。

虚無 迷惑……ああ、そう……。

結月、ハット卿の乳首を隠している腕に手をかける。

虚無 やめろ！

二人、びく。

虚無 ……あー、その、なんだ、やらないうちは言っていないのよ。額によろってだけでね。ハッ なるほど。

虚無 なにしろ俺もモンスター退治なんて初めてでさほら 相應のものが欲しいわけ。

ハッ 具体的には？

虚無 五百万。

ハッ 出せません。

虚無 五百万だ。命かかってんだぜ、安いもんだろっが。

ハッ ……四百。

虚無 五百だ。

ハッ 四百……四五〇。

虚無 ……わかった。

ハッ 交渉成立ですね。

虚無 あー、あとあれだ、いくらかは先払いで頼む。準備とかあるからさ。ハッ 分かりました。それでは。

ハット卿、上奥へ去る。

虚無 ……ふう。

結月 すこい。上手いね、喋るの。

虚無 ったり前だろ、何年やっつてると強ってた。

結月 フフ。

二人 ハッハッハッハ……。

結月 あなた誰？

虚無 なんでもだよ！…うちの台詞だわ、誰だよお前。

結月 高山結月！ えっとな、

虚無 あー、いいよプロフィールは。あれね、流行りのやつね。

結月 流行り？

虚無 そ。おーい、その…出ていけよ、隠れてないで。

ノーテン、バシちまったか「みたいな感じで上奥から出てくる。なんらかの発光体。

虚無 お前じゃねえー！ いやお前でもいいけどさ、そっちだよその、ほら。

川崎、戸惑いつつ上奥から出てくる。

結月 川崎！

川崎 結月！？ お前だっつて……そっか。

イー……。

虚無 ……。

川崎 走馬灯、ってやつか……。へっ、いつの記憶だよ。誰だ、いつら。

虚無 浸ってるぞ「悪いけど、その段階も」終わってるからな。

川崎 あっ。

虚無 お前の脳はここにはない。身体もない。あなたはじにました、ってやつね。

結月 えっ川崎死んだの!?

虚無 うんせひ。先に言っとけば、バニはあの世じゃないぞ。俺は生きて

結月 うそ…? 私天国だと思ってた!

虚無 うんせひ。いいか、お前には思い出す義務がある。どうして死んだのか、死ぬ直前に何をし

ていたのか、できる限り詳細に

結月 えっ川崎なんで死んじゃったの、インセンにハラスメントパワー貰ったの、あつ髪染めたから

頭皮傷んで

虚無 うんせひ……。

虚無僧、結月に塩をぶつける。

♪ 神々しき BGM

結月、光に包まれる。

結月 待って待って何これ、ちよっと！ なんなのほんとにねえってば！（虚無僧に）ねえおじさ

ん！（ノート）そっちの麦なおじさん！ 待ってどっちも麦なおじさんだ、ウフフ。川崎！

（イケボで）ケンちゃんのことよろしくね。

結月、成仏。虚無僧、形式的に手を合わせる。

川崎 ……なあ。

虚無 ん？

川崎 俺、死んだのか？

虚無 そこから？ 何度も言わせるな、お前は死んだ。色々思い出して吐いてもらふ。でもどかせサ

みだからこれから海に行きます。オッケー？

川崎 ……ああ、分かった。

二人と一隻、海へ向かうはけよとする。「この辺で真鴨野中、上奥から入ってる。

川崎 そういや、「いつはなんなんだ？」

虚無 なんかに憑いてた魂じゃないの、知らんけど。

川崎 知らねえのかよ。

ノー なんでもいいだろう？ 全部を常識に押し込めようとして、日本人の悪いところだ。

虚無 お前日本の何を知ってるんだよ。

三人、下奥へはける。

野中 見た？

真鴨 え？

野中 今の。

真鴨 ああ……。

野中 喋ってたね。

真鴨 喋ってたな。

野中 一人で。
真鴨 ああ。
野中 投げてたね。
真鴨 投げてたな。
野中 なんかく粉。
和田 塩ですよ。

和田、灯台(?)から顔を出す。

野中 ああ……。
真鴨 ええっと。

和田 和田エルズベリーです。ベリーでいいですよ。

真鴨 和田さん。えっとどうしてそこ??

和田 動画の編集をしていました。お二人はそこで何を??

野中 何、って言うか……。ねえ。

真鴨 ああ。

和田 気持ちは分かります。あんなことがあつたんですから。

真鴨 ……和田さんは、強いですね。

和田 ここで立ち止まってはいただけませんから。違います??

野中 和田さん……。

和田 あ、そうだ。この辺りってミサは飛んでませんか? 高いところに来たんですけど拾えなく

真鴨 無いですよ、そんなの。

和田 ……。

和田、消沈して灯台から降りてくる。

真鴨 ……。

野中 ……。

和田 ……。

真鴨 ……あの、和田さん。

和田 ……人生には、休むべき時が三つあります。お正月、雨の日の朝、それからミサが無い

時です。

野中 はあ。

和田、落ちている歯を拾い上げる。

和田 止まったときに見つかるものもあるってことですよ。ほら、落ちて物ですよ。

真鴨 いやなんで俺のだけ思ったんですか。歯なんて持ち歩きませんよ……。

レイ サメのだよ、それ。

レイフ、下奥から入ってくる。両手に沢山の歯。

野中 レイラちゃん。

真鴨 ……待て、今何て言った??

レイ だからサメの歯だって。ほら、レイラの。

和田 ……どうしてですか??

レイ そのままの意味。サメって歯がすぐ生え替わるから、こいつって抜け落ちるんだよ。

真鴨 待って、なんでそんなのがここに落ちてるんだよ。それじゃまるで、

レイ もつ上陸してるところと。あのサメ、いや、サメだった何かが。

野中 そんな……。

和田 あの、それはあなたが集めたんですか？

レイ そう。居場所とか、行動のパターンとか分かるかなって。

野中 そんな、危ないよ。

レイ 危ない？

野中 え、だって。

レイ 見たでしよう？ あのサメはもう海で泳ぐ魚じゃない。二本の足で立って歩ける。今そこから出てきて私たちを食べることもだってできる。もはやここに安全な場所なんてない！

真鴨 ……レイフ。

どうみても歯が飛んでくる。

真鴨 いてっ。

虚無 上の歯が抜けたら下に、下の歯が抜けたら上に投げる。日本の風習だ、知ってるか？

虚無僧(と、その後ろから故・川崎)、下奥から入ってくる。

野中 ……知り合い？

真鴨 いや、やばい人だ。

虚無 話は大体聞かせてもらった。賢いね、君。

虚無僧以外の全員、逃げる態勢。

虚無 あー待て、俺もモンスターを退治しようっていうアレなんだ、警戒しないでいい。

レイ ……何が言いたいの？

虚無僧、どこかしろの歯を拾う。

虚無 抜けた歯を大事に取っておく奴とか、燃えるゴミに出す奴もいるだろうが、何本抜けたってその場でポイ捨てはしないだろう。人間ならな。

和田 それは……、そうでしょうサメなんですから。

虚無 サメ？ 話が違えば、俺は二足歩行のモンスターって聞いたぜ。

真鴨 ……！！

レイ だけど、少なくともヒト並みの知性は持っていない。

虚無 そういってこの歯がその証拠だ。ググって出てくる生物じゃないんだからさ、そいつの生体情報が重要なわけよ。分かる？

野中 ……ねえ、悪い人じゃないんじゃない？

和田 確かに……。

真鴨 あんたの言い分は分かった。でも目的はなんだ？ また金か？

虚無 ひねくれるなよ少年、シンプルにいいさ。サメを殺す、目的はお互い一致してるんだ。協力しないじゃある？

真鴨 協力……。

虚無 必要なのは情報だ。奴について、君たちが知っている全てを教えて欲しい。歯みたいな新しいものも得られ次第すぐに。

レイ 見返りは？

虚無 その情報を元に、俺がモンスターを倒す。簡単だろ？ 謝礼もまあ、小遣い程度なら出せる。

レイ ……二つ言わせて。あなたが独自に得た情報も教えてほしい。それからサメを殺すのは私。

レイフ、上奥へはける。

真鴨 レイラ……。

虚無 おい、何やってんだ。

野中 えっ？

虚無 一人で行かせる気か？ 丸腰で奴と対面したら即終了だろ、ついてってやれよ。

真鴨 ……ありがとう。えっとその、やばい人。

野中 あっ、真鴨待ってよ！

真鴨と野中、上奥へはける。和田もついて行くとする。

和田 ……あの。あなた、前にどこかで会いました？

虚無 知らねえよ、早く行け。集団行動は基本だぞ。

和田 そうですか……和田エルズベリーです、以後お見知り置きを。

和田さん、上奥へはける。

虚無 ……。

川崎 ……なあ、よかったのか？

虚無 何がよ。

川崎 全員行かせちゃったけどよ、情報貰うんじやねえの？

虚無 あー。まあ、どうせお前思い出しただろ？

川崎 ……。

虚無 無理にとは言わないが言ってもらっぞ。五百万かかってんだからな、こっちは。

二人、下奥へはけようとする。

川崎 ……そいちゃ、さっきいたおっさんは？

虚無 さあな、アイツにはアイツの思い出があるんだろ。知らんけど。

二人はける。

●五

虚無僧川崎と入れ替わりでロータス下前から入ってくる。消沈。

いつもの

ロー はあ……。

ナレ ロータスは落ち込んでいた。ノートンが沈没してしまったからだ。

ノートン、上前から入ってくる。

ナイ……。
ナレかつてノートンだった魂は、ロータスに話しかけることができなかった。魂だからだ。

ロー……。

ロー（虚空に）ねえノートン、僕らはずっと漁船なのかな。遊んだりしないで、ずっと漁だけしてなきゃいけないのかな。

ハット卿、下奥から入ってくる。

ナレハット卿は、船たちと会話を交わすことまでできなかったが、誰より彼らを大事にしていた。

ハット卿、帽子を取って恭しく黙祷。

ナレそして、誰よりも今回の事故を悲しんでいた。

ハッ……この無念、必ずや。

ハット卿、帽子からダイナマイトを取り出す。

チャイムの音。石瀬と真鴨野中、上奥から出てくる。ハット卿たちそれぞれはける。

石瀬……二人。今日はどつて呼ばれたか分かる？

真鴨野中、顔を見合わせる。

石瀬 ねえ真鴨くん、昨日は何の日だったと思っ？

真鴨 昨日？……ああ、葬式。

石瀬 私は悲しいわ。どつたら改心してくれるの？ ねえ。私はいつまで二人セパタクローを続ければいいの？

真鴨 だから言っただじゃないですか、どついても悼むじやば……

野中 真鴨。

真鴨 え？

野中 先生にも言っただ方がいいんじゃない？ 本当のこと。

真鴨 ……共有、か。

野中 サメは上陸してるんでしょ、いつどこに来てもおかしくないよ。

真鴨 ……。

石瀬 いつの間にか野中くんもサボるようになって。あなたのせいなの？ あなたが野中くんを悪の道に引きずり込んでるの？ 腐ったリングが何かなの？

真鴨 先生。

石瀬 何？ ももあなたの屁理屈は聞き飽きたんだけど。

真鴨 言い訳はしません、俺たちはサボっています。命の方が大事ですから。

石瀬 ……命？

真鴨 川崎はモンスターに殺されたんです。俺とケンがこの目で見ました。しかもいつはまた見つかってなくて、

石瀬 学校にいるかもしれないから危なくて来れない？

真鴨 いや、そいつわけじや

石瀬（出席簿を叩きつけて）ふざけんな……！

二人、ビクつく。

石瀬 あー半分かったわそっぴいことね。人型のモンスター？ 善光寺さんも言ってたわよ。口裏合わせて男女で男男女女で乳練り合ってるのね？ こんなときに。受験が近い、同級生が二人も亡くなって、受験も近いこんなときに！

野中 ま、真鴨歯だ、歯の話しよう！

真鴨 先生歯周病ですか？ ケアした方がいいですよ。

野中 なんて煽るの！？

石瀬 ハーーン！ もっキレたわ、アレの緒がキレたわ。反省文よ、二千字以上三千字以内！

真鴨 行こうケン、時間の無駄だ。

野中 ちよっ、もっちよっと言得しても……

石瀬 明日の八時に持ってくるよここに！

真鴨 野中、上奥へはける。

石瀬 ……ったくどっつてああなうちまったのかしら、真鴨くん。

石瀬、出席簿を拾い上げる。

石瀬 せめて、寝られるし両親がいればよかったのだけど……。

生徒、上奥から入ってくる。片手にVRゴーグル。

生徒 あの、先生。

石瀬 ああ、内田さん。どうしたの？

生徒 掃除してたんですけど、結月ちゃんのロッカーからこんなものが……。

生徒、ゴーグルを手渡す。

石瀬 何これ？

生徒 多分、ゲームだと思います。VRっていうなんか流行りの。

石瀬 ……はあ。結月ちゃん、ゲームなんて持ってきてたのね……。ありがとっ内田さん。

生徒 いえ……あの、先生。

石瀬 何？

生徒 中のソフト見たんですけど、VR催眠大相撲でした。

石瀬 は？

生徒 失礼します。

生徒、はける。

石瀬 ……。

石瀬、ゴーグルを眺める。

石瀬 VR……催眠大相撲……？

石瀬、周囲を眺める。

石瀬 ……ちよっちよっただけ……。

石瀬、ゴーグルを装着。
「なんか雅な曲

カ士 (voice only) 「じつあんてーす」

石瀬 うわあー!

カ士 VR催眠大相撲によろそー! ボクは綺羅の海、よろしくね

石瀬 カ士出てきた! えっ何、怖い怖い怖い。

カ士 これから、ボクとキミで相撲を取るよ。まずは楽な姿勢になつてね

石瀬 何の指示? ねえちよつと。

カ士 全身の力を抜いて……そう……足を肩幅に広げて……

石瀬、従順に従う。

カ士 右の膝を横に上げよう……そう……いい感じ……膝に手を添えて……もっと高く……高

く……高く……下ろす……

石瀬 ……。

カ士 準備ができたところで、取組を始めるよ。

石瀬 四股踏ますなー! なんて回りくどく四股踏まなきゃいけないのよ、腹立つわ……。

カ士 ボクがゼロをカウントしたら始めるよ。十……九……

サメ、下奥から入ってくる。のそのそしている。

カ士 八……軍配が返った……六……

石瀬 このゲーム挑戦的すぎるでしょ……なんなのほんと……。

カ士 五……待ったなした……

サメと石瀬、向かい合う。サメはいい感じの距離感で止まる。

カ士 三……二……一……はっけよー!

石瀬 でりゃあああああー!

石瀬、サメにぶちかます。サメ、面食らつ。

カ士のこつた。のこつた。(取組終了までリピート)

石瀬 あっすい、質感がすいー!

石瀬、もう二度組みにいく。

石瀬 おっしやあああああ

サメ、迎え撃つようにかち上げ。

石瀬 アバッ!

石瀬死ぬ。

カ士 残念、白星はボクのものだね。お疲れさま。

サメ、しばらく右瀬を見下ろし、また歩き出す。

生徒 先生、やっぱり私もVR催眠大相撲やりたいんですけ……ど……ど……。

生徒上奥から入ってくるもサメと対面し、硬直。

生徒 ……失礼しまし

サメ、ぶちかまし。生徒死ぬ。サメ、生徒を一瞥して上奥へ歩き去る。

力士 さあ、もう一番挑戦だ。次は頑張つてね。

しばらく雅な曲は流れている。

●六

ファンファーレ。

田村リナと五十嵐(生徒)、急に立ち上がる。

二人 遅刻だああ……っ……！……！

♪なんか競馬っぽい曲

二人、走り出す。とりあえず舞台上をグルグルする。

希枝と真鴨、下奥から入ってくる。

希枝 さあ本日も始まりましたチキチキ遅刻対抗食パンダービー旬の野菜を添えて、どうぞしよう

真鴨さん？

真鴨 なんだよこの夢……。

どこかから食パンが二袋飛んでくる。リナと五十嵐、開封してうまいこと食べながら走り続ける。

希枝 さて、本日のデイリーヤマザキミッションは「ちらしシヤムです。私はママがベジタリアンなの

でために、あつ、朝「飯食べよう」取ってくるね。

真鴨 自由かよ。それで何を見せられてるんだよ俺は……。

真鴨座り込む。希枝、ちよつと移動してから振り向く。

男(voice only) お前はいちごだったか。

真鴨 えっ？

男 いちごがブルーベリーかで言ったらいちごだろ？ 真鴨。

真鴨 ……親父。

男 待て、いちごが無いな。これだからパンまつりは……買ってくる。

希枝、ゆっくり後ろ歩きで上奥へ去っていく。

真鴨 親父、いいよそんなの、親父。

男 じゃあ、ちよつと待ってる。

走ってる二人もしれっと下前へ走り去る。

真鴨 父さん！

曲が止まる。

虚無僧、上奥から入ってくる。

虚無 ベタすぎねえ？ 逆に初めて見たぞ。

真鴨 ……見てたのか？

虚無 や、俺も人の夢は見れないけどさ。父さん！ つつて起きたから。

真鴨 ……

虚無 なんでいるんだって？ 説明しようそれはな、

ハッ 真鴨。

ハット卿、上奥から入ってくる。

虚無 このオッサン、スポンサーなのよ。前金もらいついでに、ほら家案内してもらったってわけ。

真鴨 ああ……。

ハッ 真鴨。聞いたよ、サメ退治をしようとしているんだって？

真鴨 ……

虚無 悪い、色々喋ったわ俺。

ハッ 絶対にやめなさい。お前までそやって死ぬことはない。

真鴨 ……でも。

ハッ 学校も危険だ、ここから出るんじゃないよ。餅は餅屋、お前が出しゃばってもごうにもならない。

虚無 ん、別に俺も専門じゃあないけどもね。

ハッ それでは、私は漁があるので。頼むよ、真鴨。

ハット卿、上奥へはける。

真鴨 ……

虚無 ……

真鴨 …… あんたは行かないのか？ サメを狩るんだろ。

虚無 あー……まあ、折角こんな格好してるからな、説教の一つでもしてわ。

真鴨 説教？ 俺にか？

虚無 ……

虚無僧、座つてあぐらをかき、懐からタバコライターを取り出す。

虚無 やべ、切れてたわ。お前一本持ってない？

真鴨 なわけないだろ、見るよこの格好。

虚無 チツ、半端にグシやがって。

虚無僧、タバコライターを軽く投げ捨てる。

虚無 イタイ！（裏声）

真鴨 ……は？

虚無 今、このライターはそう思ったかもしれない。いや思っただろう、理不尽に投げ捨てられたん

だからな。

真鴨 何言ってるんだ？

虚無 トイストーリーみたいなもんで、神羅万象、万物には魂が宿ってるわけよ。俺らには見えな
いけど。

真鴨 ……なんだ、宗教か？

虚無 宗教！ 鋭いな、道教だ。見ての通り坊主だからさ、胡散臭い話から入るぞ。

真鴨 別に、壺とか出されても買わないからな。

虚無 出さねえよ。……なんだその顔？

真鴨 ……あんた、坊主なのか？

虚無 そこから？ 見りゃわかんだろ、袈裟着てんだぜ。坊主頭じゃねえけどさ。

真鴨 いや、なんていうか、その……

虚無 罰当たりか？

真鴨 ……

虚無 あーいいいいいよ、よく言われっから。よくある質問ってやつだ。髪伸ばしていいんですか？

真鴨 金に執着していいんですか？ うるせーようつて。

虚無 ほんとに坊主か？ あんた……

虚無 だからそうだって。お前いいか？ お前が毎朝食、パンを食べるとする。さっき言ったろ、万物
には魂が宿る。お前はそのときパンの魂を食い殺してんだ。それを毎朝！ とんだ大罪人
だぜ。

真鴨 急に来たな。

虚無 だが、お前みたいな悪人も仏様は許してくれる。天国へ行ける。信じる心があればいい。そ
れが大乗仏教だ。

真鴨 ……

虚無 こつからほ別に信じなくていいが、俺は死者の魂が見える。人とかモノとかのな。

真鴨 ……は？

虚無 そいつらは大体成仏するわけ。輪廻転生って聞いたことあるだろ？ 怨念でなんかに取り憑く
人間とか、別のなんかに乗り換えるモノとか例外はあるが、概ね安らかにいなくなる。な
あ？

虚無僧、振り向く。

虚無 いねえし。ついて来るなら来るで来続けろよ、あのチリチリ。

真鴨 ……

虚無 あー、だからその、なんだ。何が言いたいかって、お前も好きに生きていいってことだ。

真鴨 ……

虚無 復讐の是非がどつとか、倫理的な話ほどどうもいいのよ。お前がどつたかだ。ま、俺の
邪魔はしないでほしいけどさ。

真鴨 ……あんた、

インターホンが鳴る。

虚無 あ、はいはいー！

虚無僧、一旦上奥へ出て行き、アマゾンの箱と伝票を持って戻ってくる。

虚無 悪い、これ払って。オッサンの予算から下りっから。

虚無僧、伝票を投げ捨て、上奥へはける。

真鴨 ……もしかして今の話、全部時間稼ぎか……？

真鴨、ちよつと笑う。

真鴨 ああのクソ坊主。

真鴨、ライターやら伝票やら拾って小走りに上奥へはける。

●七

和田、入れ替わるように上奥から入ってきて灯台に登り、スマホを外カメラで構える。サメ、下奥からのっそり入ってくる。キヨキヨ。海に入り、波の下から何かすくい取る。ナマコ。食べよとして口に含み、すぐに捨てる。ちよつと奇立ち気味に上前へ去っていく。

和田 ……。

和田、少しして動画撮影を止め、下りてくる。

レイフと野中、下奥から入ってくる。

レイ 本当？ それ。

和田 はい、この目とカメラで見ました。

野中 危ないですよ和田さん、一人で監視なんて。

和田 大丈夫ですよ、鎖鎌(なんか武器)がありますから。

野中 何その自信……。

レイ ……たぶん、そのナマコは毒のある種類だったんだと思う。だから吐き出した。

和田 野生の本能、ですか。毒エサを食べさせるのは難しそうですね……。

野中 じゃあ、やっぱり直接戦わないといけないってことか。

レイ でも分かったこともある。アイツはわざわざ海でナマコを獲ったけど、灯台にいた和田さんに気づかなかった。分かりやすく光ってるのに。

和田 確かに……。

レイ あのモニター、やっぱりサメが進化したものだと見るべきだと思ふ。海から出てきたし。

和田 ……狩りの能力は、まだ陸上に適応できていないっ。

レイ そう。サメの感覚ってすごく鋭いんだけど、それは水中での話だから。

野中 おお……！ す、すごいよレイちゃん、和田さん！ほんとにサメを倒せるんじゃない！？

レイ ……いや、肝心の殺す方法がまだ固まってない。それに……

野中 それに？

レイ 敵は、サメだけじゃない。

野中 えっ、どういう……

ハッ レイフー！

ハット卿、上奥から入ってくる。

レイ ……伯父さん。

ハッ 何をしているんだ、私は家にいなさいと言ったはずだが。

和田 ……誰です？

野中 トゥ。プレスハット卿。偉いおじさんだよ。

和田 ……裸の王様、ですか。

レイ 言ったでしょう？ 私サメを殺すの。邪魔しないで。

ハッ 復讐か。だが、そのサメがお前の家族を食べたのか？ 違うだろう。

レイ ……

ハッ 私は町の人間を殺された。船も沈められた！ その無念のために、この手を血で染めるのだ。お前が出る意味はない。

和田 ……すごい自信ですけど、どうやってサメを倒す気なんですか？

ハッ いい質問だね。町に来ていたなんでも屋に依頼したんだよ。怪物を退治してくれ、とね。

野中 ……それって。

ハッ 勿論、私もあのような浮浪者を信頼などしていない。だから先ほど言っておいた。どうしてやってもなくなったら、私の船に身を潜めてほしい、と。

和田 船？

ハッ 小さな船だが、人一人を隠す空間はある。人一人と一包みの爆弾もね。

野中 爆だ……爆弾……？

ハッ 奴が近づいたときに爆発し、浮浪者もろとも葬ることができるんだ。どったいレイラ、素晴らしい計画だろう。

レイ ……伯父さんは二つ、勘違いしてる。まず、そんな皮算用であるサメは殺せない。

ハッ なんだと？

レイ それから、私の復讐は自己満足なんだ。誰を食べたとか関係ない、私はアイツを殺す。それだけ。

ハッ ……ふざけるな……！

後方(発砲スチロールの壁)から腕が出てくる。

この辺でハット卿、発砲スチロール付近にいる。

ハッ 私を愚弄する気が……この私を……！

もう一本の腕も出てくる。ハット卿を挟む形。

野中 あ、あの。

ハッ 黙れ！ 私を誰だと思っているんだ。

出てきた両腕でハット卿の乳首を隠す。

野中 いや、そこじゃなく……

ハッ 私は「この町の……」……！

壁が割れ、サメが全身で出てくる。ハット卿は腕の中にいる状態。

ハッ ……。

サメ ……。

サメ、首をかつ切ってハット卿を殺す。

ハッ ぐあああああああ……！

ハット卿、壁の穴から倒れはける。

野中 嘘でしょ、もっと来るなんて……！

サメ、なんとなくレイラの方向を見つめる。

和田 時間を稼ぎます、二人は逃げて！

野中 和田さん！？

和田、手持ちの武器で殴りかかる。サメ、かわしてその腕に攻撃。

和田 ぐっ……！！

サメがそのまま殺そうとした瞬間、穴から風船が飛んでくる。一瞬の沈黙。
サメ、なんとなく風船を叩き割る。破裂音。全員びびるが、サメだけダメージ。スタン状態になり、フラフラとほける。

和田 これは……。

虚無 サメは耳がいい、だから爆音は苦手なんだ。モンハンで言う音爆弾だな。

虚無僧と真鴨、下奥から入ってくる。

レイ 真鴨くん。

野中 音爆弾……そんなのがあるなら早く

虚無 だが、思ったよりも効いてねえ。奴も陸上に適応してきてるってことだ。二度目は無いと思っ
た方がいい。

野中 ……！！

虚無 もうちよいとじくじく準備しようと思ってたが、プラン変更だ。奴が弱ってる、居場所も分かる、
やるなら今しかない。

レイ 作戦は？

虚無 これから説明する！ 移動しながらだ、行くぞ。

野中 えっ、そんな急に。

虚無 ビビるなよ。いいか、俺たちは怯んだら死ぬんだ。死はいつも突然で、待ってはくれない。そ
うだろ？ 怖けりや家で寝てるんだな。

野中 …… 行きますよ、結月の敵ですから！

虚無僧野中和田、下奥へはける。

真鴨 行こうレイラ。

レイラん。

真鴨 それと……後で話がある。

真鴨レイラ、下奥へはける。

●八

「ノリノリのきかんしゃトーマスのテーマのようなもの

ロータス、ダッシュで下前から入ってくる。

ロー……うおおおおお……

ノートンと川崎、上前から徒歩で入ってくる。

ロー 僕はやるよ、やってみせる！ 見ててねノートン！ うおおおお

ロータス、上前へ走り去る。

ナレ 行き場の無い気持ちだが、ロータスを走らせていた。

ノイ 何をやるっていうんだ、全く。具体性のないやつだなあ。

川崎 …… お前、船だったのか？

ノイ この前までね。もともと昔のことほおられたよ。

川崎 ほーん……。

二体、下前へ歩き去ろうとする。

ノイ で、君はどっついてついでなんだい？ 同調圧力をかけたつもりは無いけど。

川崎 …… しょうがねえだろ。頼まれちゃったんだからよ、ケンのこと。

ノイ …… 別に、なんでもいいけどさあ。

ナレ どうやらノートンには、まだ仕事があるようだ。

二体、はける。

虚無僧と和田、下奥から入ってくる。和田、やられた方の腕に自撮り棒で添え木をしている。

和田 思い出しました。

虚無 何を。

和田 あなたのこゝです。あれですよね、三組の田中くん

虚無 待て！ …… なんだそりや、田中？ 誰だよ、知らねえぞそんなモブみたいな名前。

和田 私です、和田ですよ。ほら七中の。

虚無 ……

和田 田中くん、いつの間にかそんなことになってたんですね。知りませんでした。

虚無 …… お前が言うな。

和田 死者の魂というのは、昔から見えてたんですか？

虚無 …… 誰から聞いた？

和田 真鴨さんから。それともアシですか、僧侶でやっていくための方便ですか？

虚無 あ？

和田 失言でしたらすみません。ミステリーを感じたものですから。

虚無 …… 別に、好きに判断すりゃいい。俺がそれで金取ってんのは事実だからな。

沈黙。

虚無 同中のよしみで忠告してやる。逃げた方がいいぞ、お前。

和田 なせです？

虚無 死ぬからだ。ここにいる限り、お前は困になる。サメは血の臭いに敏感だからな。

和田 だから狙われて死ぬ、と？

虚無 そうだ。

和田 …… 分かりました。残ります。

虚無 分かってねえじゃねえか。

和田 別に、私は死んでもいいんです。このミステリーを記録することができれば、それで。ミステ

リーハンターですから。

虚無 死んだら動画も上げられないぜ。

和田 データは残ります。それから私の魂も。

虚無 ……好きにしる。その代わり俺も好きに利用させてもらふ。

山菜狩り的な風情のモブが下奥から入ってくる。

虚無 (爽やかに) (こんにちは)。

モブ (こんにちは。(適当な挨拶))

モブ、ゆったりとすれ違っていく。

虚無 おい、挨拶は。

和田 えっ？

虚無 あのな、俺もお前もよそ者だろうが。地域に溶け込む努力をしないでどうする。

和田 ……田中くん、そいつのこと考えるんですね……。

虚無 田中はやめる。

モブがはけ口付近に差し掛かり、上奥から来たサメとすれ違う。

モブ (こんにち(サメ、首筋に噛みつくぐわあああああ……！

サメ、そのままモブを引きずってはけていく。

和田 そんな……！

虚無 マジかよ……行くぞ！

二人、追いかけて上奥へはける。

●九

真鴨レイラ野中、下奥から入ってくる。真鴨は釣り竿(先端に風船)を持っている。レイラはドスを持っている。野中は風船持っている。

野中 サメがそれに飛びついたら、一瞬隙ができるからそこでスバツ。警戒して襲ってこなかった

ら、合流地点まで連れてってドス……。完璧じゃん！

レイ 完璧な作戦なんてない、油断しないで。

野中 おお……さすがレイラちゃん。

レイ ……そつえば真鴨くん、話して？

真鴨 え？ ああ……っと。

野中 え、なに？ そついやつ？ 吊り橋？ 吊り橋なの？ ええ、やめてよもう渡り終わってか

らしてよ。

真鴨 何言ってるんだお前。

野中 わかった、一旦若いお二人に任せる！ 任せましょつ！

野中、上奥へ去ろうとする。

真鴨 待て、一人になるな。

野中 大丈夫大丈夫、風船あるし。それより真鴨、ダメだったら次俺だからね！

野中はける。

真鴨 なんだアイツ……。

レイ ほっとけばいいよ。サメと会っても逃げてくるだろうし、偵察だと思えば。

真鴨 ……レイラ。

レイ なに？

真鴨 俺、親いないんだ。

レイ ……どうしたの急に？

真鴨 母さんは交通事故。だいが昔の話でさ、正直顔も覚えてなくて。

レイ ……うん。

真鴨 父さんは……サメに食べられた。

レイ えっ……。

真鴨 漁師だったんだ。たまたま遠くに出て、たまたまサメがいて、襲われた。

レイ ……。

真鴨 正直、俺だってサメは憎い。殺してやりたい！ ……だけど、その行為にきつと意味は無い。それに……

レイ それに？

真鴨 あのサメは、殺さない方がいいかもしれない。

レイ ……はっ。

真鴨 あの坊主が言ってたんだ。万物には魂があって、人間は死んだ後、怨念になって何かに取り憑くことがあるって。

レイ なにそれ、オカルト？

真鴨 俺も完全には信じてないけど。でもなんか、あのサメ、レイラを追いかけてたような気がする。

レイ ……要するに、こ言いたいの？ サメに食べられた私の家族の誰かが怨念になって、そのままサメに取り憑いた。それで私に会いに来る途中で、二足歩行に進化していった。

真鴨 いや、そこまで……。

レイ 別に、それでもいいよ。ごうせ

野中 びやああああああああ……！

野中とサメ、上奥から入ってくる。野中は倒立状態で、足をサメに抱えられている。少し歩いてきて、サメ手を放す。野中、叫びながら崩れ落ちる。死。

真鴨 ケーーン！

レイ ……来たね、ごうせ。

レイラ、ドスを抜く。じりじりサメと接近。

サメゲ、ゲ、ゲ……。

真鴨 待てレイラ！

レイラ ごうせ……！ 私はこいつを……

発砲音。総員フリーズ。

レイ ……ごうせ……。

レイラ倒れる。続けて発砲音。

サメゲ、ゲ……。

虚無僧と和田、入ってくる。虚無僧、手に猟銃。

虚無 チツ、弾切れた。効いてはいんのか……？

真鴨 っな……。

虚無 和田、あいつをどっか連れてけ。多分まだ息はある。

和田 分かりました。これお願いします！

和田、虚無僧にスマホを渡し、レイラを半ば無理やり下奥へ連れ去る。

虚無 ……逃げるぞ、とか言ってるんねえな。大チャンスだ。

真鴨 ……あんた、自分が何したか分かってんのか……？

虚無 あ？ しよぶがねえたる誤射なんだから。それより気張れよ、正念場だぞ！

サメ、二人の方を見ずに低く唸り続けている。

真鴨 ……ダメだ、殺せない。

虚無 ああ！？ 何言ってるんだこの期に及んで！

真鴨 あいつ、レイラの家族かもしれない。家族の……父さんの魂が入ってるかもしれないんだ！

虚無 ……うせえ走れ！

虚無僧、真鴨をやつく。

虚無 船だ、船まで走れ。そこに爆弾がある。そこでもしなきや殺せねえ。

真鴨 でも。

虚無 早く！

虚無僧、猟銃を捨て、落ちてくるトスを手に取る。サメ、動き出す。

真鴨 …………っ！

真鴨走り出す。虚無僧、トスでサメと渡り合う。

真鴨 待て、船なんてこんなところに……

ロー あああああああ……！！！！

ロータス、ダッシュで上前から来る。

真鴨 来た！

真鴨乗船。

この辺でサメ、ガードして虚無僧を吹っ飛ばす。死にはしない。

真鴨 爆弾……これが。

ローえっ何！？ 何事！？

真鴨、ダイナマイト拾う。サメ、じわじわ真鴨の方へ。

虚無 何やってる、早くしろ！

真鴨 っ……………！

真鴨、呼吸が荒くなり諸々震えだす。

サメ、海に入る。

ノートン・川崎 うおおおおおおお………！

ノートンと川崎(緑色全身タイツ)、波の下から出てきてサメをホールド。

真鴨 ワカメ……………！？

ノーニニから先は、

川崎 行かせねえぞ！

ナレ おやおや、どうやらノートの魂は、ワカメに取り憑いたみたいだ。

川崎 ……待て、ケンはどうした。

野中 真鴨！

野中と石瀬、上奥から入ってくる。天使の輪。

野中 僕の、うん、僕たちの仇を討って！

石瀬 ちよう、何ですかこれは、説明しなさい！

ハッ これもまた天命、神の思召しとひょうどか。

ハット卿、奥はけから出てくる。光の輪。

虚無 あーうるせえうるせえ、聞かえてねえっつうんだよ。

レイ 真鴨くん！

レイフ、和田に支えられつつ下奥から出てくる。

真鴨 ……レイフ。

レイ 殺して。中に誰がいたって関係ない、そいつはサメだ！

和田 田中くん、説教をお願いします！ 坊主でしょう！？

虚無 わーっただよ……………おいお前！

真鴨 ……

虚無 外の器を壊しても、中の魂は死なねえ。どんな魂であってもだ。その行為は殺しじゃねえ、解放なんだ！

真鴨 解放……………

虚無 それに、前も言っただろ？ 好きなように生きる。他人がどうとかじゃねえ。生きてる奴も死んでる奴も気にすんな、やりたいことやる！

サメ ガアアアアアア……………

ノ川 おおっ。

ロー ねえ、なに！？ ほんとに！

真鴨 ……ふ、ふ、ふ、はは。やりたいことか。

真鴨、ライターを取り出し、導火線に火をつける。

真鴨 …… 復讐だ。

真鴨、ダイナマイトを投げる。地面に落ちる。閃光。
暗転。

●十

和田、上奥から入ってくる。両手フリーだがカメラ目線。

和田 こんにちほ、和田エルズベリーです。とんでもないミステリーが入ってきました。なんとこのアマゾンの地に、独自の進化を遂げた人食いサメがいるのです。フフ、私、サメには少し興味がありますよ。それでは早速現地の方にお話伺ってみましょう。

和田、喋りながらまっいこと下奥へはける。

真鴨 レイラ、上奥から入ってくる。二人でスマホを見ている。

真鴨 …… アマゾン、かあ。

レイ 世界進出してたんだね。

真鴨 自撮りじゃなくなってるしな。

レイ なんか …… なんだろう。応援してたマイナーバンドが売れ出した、みたいなの。

真鴨 好きだった若手芸人がテレビ出だした、みたいなの。

レイ 一緒じゃない？

真鴨 そうかな。

レイ そうだよ。

二人、ちよつと笑う。

レイ じゃあ、私はこれで。

真鴨 …… よかったのか？

レイ うん。ここにも伯父さんはいないし、私、やっぱり家族のところで生きたいから。

真鴨 いつでも戻って来いよ、たまに墓参りとかしないと罰当たるぞ。

レイ えっ、真鴨くんが墓参りとか言うの？

真鴨 うん、さ。な。

レイ ふふ …… それじゃ、またね。

真鴨 また。

レイフ、下奥へはける。

真鴨 …… ふふ。

虚無 あーやだやだ、何だよ今の。また、じゃねえっつもの。

虚無僧、灯台から顔を出す。

真鴨 …… 聞いてたのか？

虚無 しょうがねえだろ、ここで寝てたんだから。

虚無僧、下りてくる。

真鴨 …… あんたは、出て行かないんだな。

虚無 ましぼらは「こ」で食わせてもらえそいだし。

真鴨 気楽でいいな。

虚無 そりゃあ……なんだお前、引きずってんのか？

真鴨 ……。

虚無 ま、切り替えるなんて言わねえよ。「こ」のは一生付き合ってもんだ。

真鴨 そんなもんか。

虚無 そんなもんだ。四十九日やら一週忌やらよろしく頼むぜ。

真鴨 また金じゃねえか、クソ坊主。

虚無 ハッハッハ……よし、こんなときは俺が仏教クイズを出してやろう。お釈迦様の生まれた国

真鴨 インド。

虚無 ですが、そのインドでは「こ」や「き」何をしていゑるんか？

真鴨 はあ？ なんだそれ。

虚無 分からんか？ ん？

真鴨 …… 正解は？

虚無 正解はな……

虚無僧、キメる。

虚無 踊るんだよオ——っ……！

♪ダンス曲

みんなちよつとずつ出てきて踊る。

踊り終わって暗転。

(終)